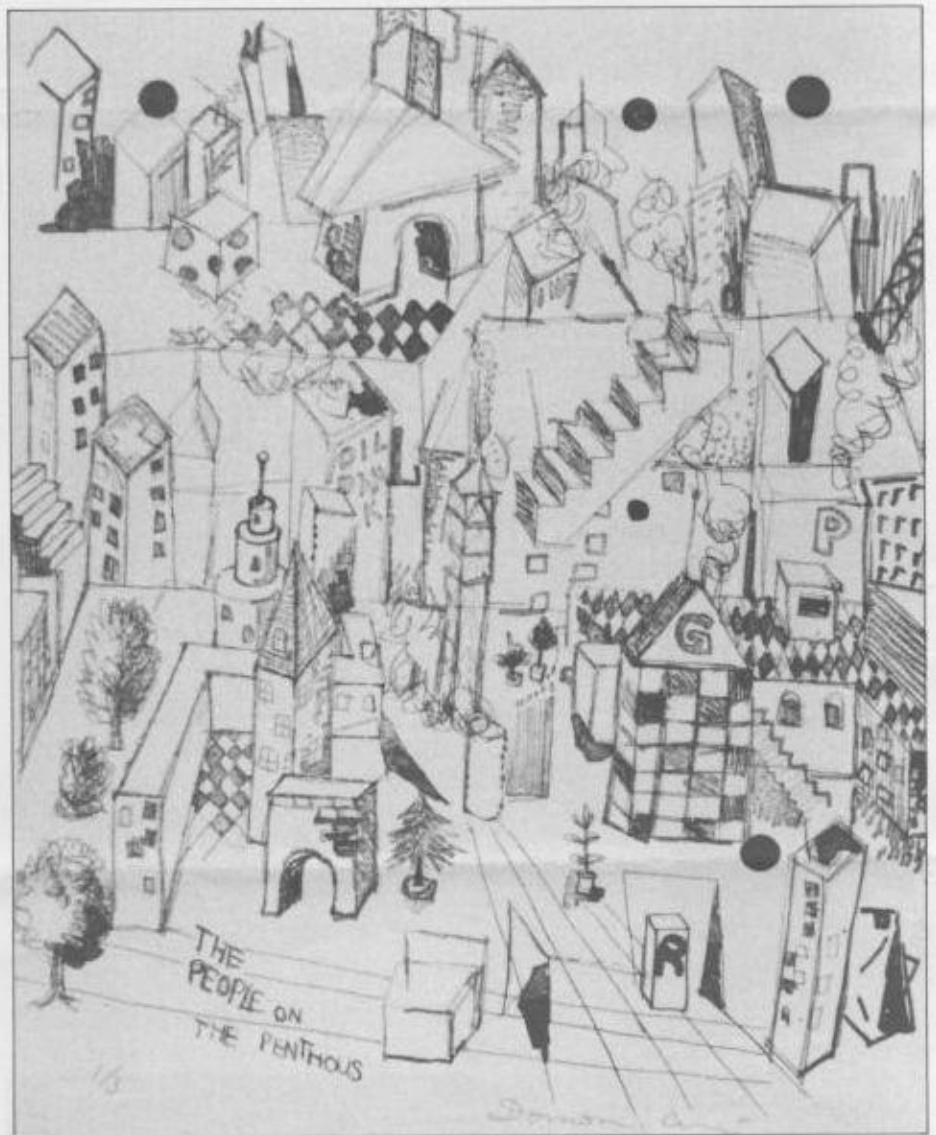


IP NEWS

インテリアプランナーニュース

1992.12 vol.4

- 特別企画：シリーズ「北海道の地域に根づく工芸を訪ねて」-2
- インテリア関連賞紹介
- 北海道IP協会会員紹介
- IP実施例
- 北海道IP協会賛助会員紹介
- シンボルマーク表彰
- 見学会報告



リトグラフ「CITY」

土門絵美 札幌教育大学特設美術科卒業
作品写真提供/オフィス メロウ (絵画・彫刻・工芸等)
道内芸術家の作品の企画・販売)060 札幌市北区北7条西2
丁目35山京ビル1007 TEL・FAX 011-756-2771

■特別企画——シリーズ「北海道の地域に根づく工芸を訪ねて」—2

北のクラフト集団 新工房主宰 新覚 紘一郎さん 小樽市緑2-4-4-1 ☎0134-33-3336

観光客で賑わう小樽へ、建築家であり画家、陶芸家でもあり、正に造形家と表現させていただくのが一番ふさわしい新覚 紘一郎さんをお訪ねした。

山田 お忙しいところ申し訳ございません。どうぞ宜しくお願い致します。まず陶芸をなさろうとした理由について、お話を伺いたいのですが。

新覚 私が大学を出て設計事務所に勤めていた頃の建築プランナーは、四角い器を作ればよいような感じで、せいぜい意識していたのは家具ぐらいかな……。そこに置かれる細かい生活用具（ディテール）までは、まとめられなかったし、コーディネートできなかった。私が27才の時、約4カ月間程ヨーロッパへ研修旅行に行きヨーロッパのインテリアを自分なりに調査分析して帰ってきて、インテリアを主とした内部空間、そして外部空間も踏まえた接点を見つけようと思ったのがインテリアの業務でした。色々な国際見本市がむこうにありまして、ドイツでは大きなタイルを使ってインテリアに凝っていたのを見て、その素材に感激した訳です。そういうものも頭のどこかにおいて、陶板をやりたい、建築空間の中に陶壁を設けたいと思ったのが、そもそものきっかけです。

■素材にこだわる所から始める

山田 銀山の土を使用していると聞きましたが、そのお話をお願いします。

新覚 北海道の土は使えないというのが一般論でしたが、溪流釣りの中で河原で見かけた銀山の粘土を、テストピースにして調べた所、非常に耐火度もあり、これで行けるんじゃないかと思って始めました。やり続け、壊し続けて3年、試行錯誤の繰り返し、成功させることができ、銀山陶土

と命名して9年経ちます。

山田 成功させたきっかけを是非お伺いしたいのですが。

新覚 粘土というのは人間の生きざまと同じで、耐火度さえあれば、あとは優しく手を添えて作れば成功するんです。それを力づくでやっつてしまえば、素焼きで壊れるか、乾燥で壊れるかなのです。自分は建築家だから力が目にみえてくるんです。きざな言い方だけど、土の気持ちになってあげて、やりながらつい危ない危ないと優しくなって行き、そして素材の耐える力を、ああそろそろかなと感じられる事。それが銀山の土を単味100%で成功させたきっかけだと思います。

山田 手づくりにはそういう心が必要なんですね。ところで陶器について、こだわり続けられているところは……。

新覚 食文化の中の食器というものへのこだわりとして、若い人達は手づくりの持つ暖かさや優しさを理屈でなく感覚的に感じている部分があるし、お年寄りはその中に、ユートピアを感じ、その中で友人を、昔の家庭を、そしてその生活や何か大事なものを想い出すんですね。人間的な温もりが欲しいんです。だから手づくりの文化はニーズとして存在するんです。私にとって哲学として生きているところですから、そういう気持ちは大事な部分なのです。陶器は作品と同時に生活用具ですから、そのへんはアーティストでない視角から考えていきたいと思っています。とにかく使いやすさが第一です。

■インテリアは女性

山田 ガウディの信奉者とお聞きしましたが……。

新覚 以前1カ月程ガウディの作品を追っかけて歩いた事があります。彼は技術家でありながら自らの手を動かしてきた人で、プランナーであり、職人でもあるわけです。ガウディにとって建物、特に商店建築は女性名詞なんです。そういう部分では非常に気を配っているなと思います。だから私はインテリアは女性だと思ってやっています。それだけデリケートな部分です。空間はさらっとやりますが、ディテールにはかなり気を使って、しっかりやるようにしています。これはガウディにも通じる事なんですけど、インテリアに携わる人は既製の材料ばかりでなく、自分で作る材料学もやってほしい。自分が欲しいと思った材料は自分で作る。それでなければ、ただ組立て作業に終わってしまい、意味がないと思います。

山田 耳の痛い話になりましたが、今後の活動方針と、何か企画しておられる事がありましたらお聞かせください。

新覚 陶器だけでなく、草木染めや織の方にも力を入れてやって行きたいと思っています。また来年、小樽や後志管内の陶芸家を一同に集めたいという事と、陶器を企業として成功させたい。大変難しい事ですけど、やらなければならないと思っています。

山田 今日は本当に有難うございました。（取材後感：大変器用な方で、何でも自分で作り出してしまう不思議な力を持っておられ、きそ難いお話をと思いきや、こちらの資質に合わせて頂き、只々感謝。）



新覚 紘一郎

1944年 北樽山、今金町生
1967年 日大工学部建築学科卒業
1971年 全道美術協会奨励賞受賞
独立美術館館長賞受賞
1980年 北のクラフト新工房設立
1992年 EDISON PLANNING WORKS 設立



作品



工房にて

聞き手：山田 照子

- 北海道インテリアプランナー協会
- 協立建設工業(株) 取締役

■IP実施例

●一級建築士事務所 (株)ブルック 新田 信昭

■M邸
■札幌市豊平区平岸

緑多い閑静な住宅地に新築された木造住宅である。「コンパクト・シンプル・オープン」この3つの考えを軸に計画した。

総二階建てで延面積33坪の内部は水廻り以外は壁、天井共にライトグレーの塗装仕上げで統一する。浴室、WCを含め建具は5枚である。簡素化された中に床のフローリングや窓の木製サッシ、建具枠等に白木を使い木質の温もりある空間を作り出している。主要各室を説明すると

●居間・食事室

2階に位置しスクリーン窓からの眺望がよい。天井高3.6Mでゆったりとした空間。照明をスタンドと陶器製のブラケットとし優しく落ち着いた雰囲気とする。ダイニングテーブル脇には、2段の棚を作り多目的に利用可能とした。

ウォッシュアップタイプのロールカーテンで窓廻りをすっきり見せている。

●厨房

独立したII型。L=3.600のシステムキッチン。流し台上部のウォールキャビネット下端を1.200とし、シンク背面位置までセットバックさせ使い易さと、頸部の煩わしさを無くしている。対面には、冷蔵庫・食洗機付きの収納棚。白とブルーグレー2色でアクセントを付ける。壁タイル50角モザイク。

●洗面・ワークスペース

厨房とつながり、洗面台兼用の人造石カウンターL=2.100は主婦の机として活躍。大型洗濯流し設置。

●浴室・脱衣・洗濯

広めの3.5帖に置型の洋風バスと便器を設置。床、壁に3色の50角モザイクタイルを使う。脱衣室はデザインヒーターパネルで乾燥室にも利用。2階よりフレキシブルダクトで洗濯機に汚れ物をシュート出来る。

●収納室

寝室に隣接し壁をブラインドとしている為、棚やハンガーには一切建具を付けていない。収納物が一目で分かる。

●子供室

壁の一面は合板下地クロス貼とし大きな展示壁として使用している。700×700×350のスタッキングボックスを作り雑多な小物類を収納している。



居間



食事室



居間・子供室



ワークスペース

■賛助会員紹介

株式会社 建装社

代表取締役 室 吉弥
担当者 齊藤 征二

〒001 札幌市北区麻生町9丁目1-8

建築工事及建築附帯工事・設計

TEL.011-747-6030

FAX.011-747-9891

株式会社 サンゲツ札幌店

店長 小松 憲次
担当者 武田 進

〒003 札幌市白石区中央1条2丁目1-37

壁紙・カーテン・カーペット

TEL.011-832-3111

FAX.011-831-1444

財団法人 建築技術教育普及センター

景山 功

〒060 札幌市中央区北4条西5丁目
三井生命札幌共同ビル

TEL.011-221-3150

大進ホーム 株式会社

代表取締役 星野 清成
担当者 手島 伸

〒065 札幌市東区東苗穂3条1丁目2-1

建設業

TEL.011-783-1122

FAX.011-783-7741

コンチネンタル商事 株式会社

代表取締役 本間 慶蔵
担当者 本間 良二

〒060 札幌市中央区南1条西11丁目1
コンチネンタルビル

輸入家具・システムキッチン
インテリア商品

TEL.011-281-6917

FAX.011-281-0950

株式会社 ダイヤ書房

代表取締役 山田当己雄
担当者 山田 敏夫

〒065 札幌市東区北25条東8丁目2

書籍販売

TEL.011-712-2191

FAX.011-752-1184

シンボルマーク 表彰

北海道インテリアプランナー協会 設立を記念して募集したシンボル マークの表彰式が行われました。

10月6日、北海道インテリアプランナー協会シンボルマーク募集の最優秀作品に選ばれた、清水 尚君（北海道デザイナー学院勤務）の表彰式が、定例幹事会の昌頭に行われました。

杉山会長より賞金を受け取り、ご満悦の清水君は「とても榮譽ある賞を頂き、大変感謝しています。今朝、出勤する時、女房の気嫌がすごく良く、これも受賞のお陰だと思っています。今後共よろしくお願いします。」との事で思わぬシンボルマーク受賞の効果に喜びの様子でした。

尚、佳作に選ばれた3人の方々は

都合で式には出られず最優秀作品だけの発彰式になりました。

シンボルマークの募集にあたり、応募して頂きました方々をはじめ審査員の皆様ご苦労様でした。

IPニュース第3号に紹介の通り、マークに付随する英文ロゴ、色彩、アミ目等については、現在協会で再調整中です。各種印刷物等に統一したマークとして使用できる様、清水君と打ち合わせの上、決定したいと思います。皆様により正式に紹介できる日も間近です。御期待下さい。



シンボルマーク



現在、英文ロゴ、色彩、アミ目、バランス等は、調整中。



清水 尚君

■ホテル札幌ガーデンパレス

見学会報告

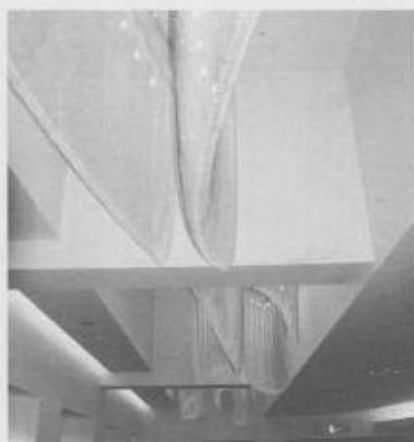
ホテル見学会シリーズとして今回は、平成4年7月に私立学校教職員共済組合北海道会館から都市型ホテルとしてリニューアルされた「ホテル札幌ガーデンパレス」を訪れました。

当日は、設計を担当された株式会社北海道日建設の吉田宏氏（北海道IP協会副会長）より、コンセプトの説明と、ホテル内のご案内をいただきました。

「大地の息吹きとフォーシーズンに移りゆく様をイメージした」と言われるように、北国の自然と北の空間体験をもとにした、その詩情的テーマは、おおらかで親しみのある外観から、1F、2Fのロビーに至る空間まで、余すことなく表現されていました。



1Fロビー



すだれ風間接照明

アルミボールチェーンで作られたすだれ風間接照明は、オーロラのように、また雪が舞うようでもあり、幻想的な光の使い方は、まさに圧巻。極めて印象的でした。

また、内装材もその素材を生かして、きめ細かく納められ、各方面のアートを積極的に取り入れたインテリアも、見ごたえがありました。

多目的利用に耐える使命と、「動」と「静」の空間づくりを、いかにクライアントに説明するか。その創造のプロセスは、参加者一同興味のあるところでした。情緒的感覚をたゆまず磨く必要性と、コンセプトを的確に表現できるプレゼンテーションの重要性を痛感し有意義な見学会を終えました。

★トピックス

渡辺治美氏 札幌中工務店北海道支店 設計部
札幌市建築局主催、札幌市高齢者対応住宅PR行事「やさしさあふれるさっちゃん家'92」アイデア作品入選。
三浦 啓氏 南三浦建築設計事務所 代表取締役
建築士会、建築士事務所協会（各釧路支部）主催、40、25周年記念コンパ「ノーマライゼーションをめざして」最優秀賞。
中嶋美也子氏 南カスペスプランナー代表取締役
エスビック社主催エクステリアコンテスト、レゴブリックの部金賞、インターロッキングの部銅賞。

◎編集後期

再び白い季節がやってきました。IPニュースも今号で4回目の発行となります。編集作業にも慣れ、スタッフ一同張り切り切っております。

情報委員会 小野 悟 野村光雄
湯上剛志 中井伸二 吉田 宏
山田照子 吉本真知子 新田信昭

発行日 1992年12月
発行者 北海道インテリアプランナー協会
〒062 札幌市豊平区平岸6条10丁目1-58-414
北国の住まい・相談所内
TEL (011) 232-6761 FAX (011) 232-6762
編集 北海道インテリアプランナー協会
情報委員会
印刷 株式会社 須田製版

■インテリア関連デザイン賞・コンペティション紹介

下表はインテリア関連デザイン各賞・コンペティションの一部をピックアップし、主催者側からの資料をもとに簡略的に掲載したものです。応募要項、募集時期等の詳細については、各事務局にお問い合わせ下さい。

名称・主催者	賞のねらい・主旨	募集時期	①応募作品②応募資格	賞・賞金	問い合わせ先
・ディスプレイデザイン賞 日本ディスプレイデザイン協会	最近における環境デザインの優れた作品を評価し、新しい作家の発掘、デザイン活動の向上と領域の拡大を目指す。優れたコンセプトと個性的な創造性に富んだ作品を募集。	毎年5月頃 一般公募	①募集時期より過去1年間に実現または既に機能している作品 エキジビション・ミュージアム・ウィンドウディスプレイ等の分類がある	最優秀賞 1点 優秀賞 10点 奨励賞 10点	事務局 〒113 東京都文京区白山1-37-6 東信白山ビル4F TEL: 03-5689-7951 FAX: 03-5689-7952
・SDA賞 日本サインデザイン協会	周辺環境や自然を考慮に入れ、その目的、機能、造形に優れ、社会的に貢献度の高いサインを評価贈賞する。総合的にサインに係わる我が国唯一の賞としサインレベルの向上に寄与。	毎月5月頃 一般公募	①募集時期より過去1年間に完成したサイン ②A類=コマーシャル B類=パブリック C類=システム D類=シンボルの4部門とし計画・設計・施工に係わる者	大賞・通産大臣賞(賞状・トロフィ) SDA賞・準SDA賞 奨励賞	本部事務局 〒113 東京都文京区湯島4-8-15 CC CENTER TEL: 03-3818-8537 FAX: 03-3818-1291 北海道支部 〒060 札幌市東区北9東2 ARKビル 〒アドバンス内 TEL: 011-702-7111
・JID インテリアデザイナー協会賞 (社)日本インテリアデザイナー協会	インテリアデザイン及びインテリアプロダクトデザインの分野における重要な業績を明らかにし、その振興と開発に寄与することを目的とする。	会員よりの推薦書を毎年1月末までに提出	②会員の推薦が必要 日本国内に居住するか国内に事業主体を置いている事、その当該年度に発表公開された作品、研究論文及びデザイン活動	業績表彰(賞状・記念品)	事務局 〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-13-14 茶屋坂 T&Kビル3F TEL: 03-5704-3421 FAX: 03-5704-3423
・JCD 商環境デザイン賞 (社)日本商環境設計家協会	商環境は、都市社会のコミュニケーション並びに商業活動に係わるスペースとして、デザインの可能性を総合的に評価し、特定の視点からの評価についても留意する。	毎年5月頃 一般公募	①募集時期より過去1年間に日本において実現し、現に機能しているスペース ②上記対象に責任ある立場で関与した設計者、デザイナー・製作者・施工者、クライアント	大賞(賞状・トロフィ) 優秀賞 特別賞 奨励賞	本部 〒102 東京都千代田区麹町6-4-17 (社)日本商環境設計家協会「デザイン賞実行委員会」 TEL: 03-3261-3094 FAX: 03-3221-1527
・住まいのインテリアコーディネーションコンテスト (社)インテリア産業協会	インテリアコーディネーターの技能の向上を図ると共に、生活者のインテリアコーディネーションについての関心を高めトータルインテリアをより一層普及促進させる。	毎年10月末 登録IC 一般公募	①②A: 実施例部門-指定の期日以降に新築又は増改築された住宅で協会登録インテリアコーディネーターのみ B: 課題作品-一般募集	通産大臣賞各50万円・協会会長賞各30万円・支部長賞各20万円	(社)インテリア産業協会 〒160 東京都新宿区新宿3-13-5 クリハシビル8F TEL: 03-5379-8600 FAX: 03-5379-8605
・インテリアプランニング賞 (財)建築技術教育普及センター	総合的な質の高いインテリアが求められる中で建築物のインテリア設計に関する優れた作品の設計・提案者を表彰しインテリアの質の向上に資することを目的とする。	毎年8月9月頃 一般公募	①②A: 作品部門-インテリアプランナーが設計した作品で過去3年間に完成したもの B: 提案部門-課題条件に従った自由提案でインテリアプランナー以外も可	建設大臣賞 100万円 理事長賞 50万円 優秀賞 各30万円	事務局 〒107 東京都港区赤坂6-11-1協栄生命赤坂ビル TEL: 03-3505-6145 03-3505-1831 FAX: 03-3585-6076
・国際家具デザインコンペティション 国際家具デザインフェア旭川開催委員会	「国際家具デザインフェア旭川'93」の開催を機に、地元家具産業のデザイン力向上の他、国際的な家具デザインのコンペの実施により国際的デザインマーケットの構築を目指す。	1993年2月20日締切 一般公募	①テーマ: 「木製家具」 1991年以降に商品化、発表及び未発表の作品 デザインの表現上主要な意味を持つ素材が「木」である事	グランプリ1点 300万円 金賞1点 100万円 銀賞2点 50万円	事務局 〒079 旭川市永山2条10丁目旭川家具工業共同組合内 TEL: 0166-47-0655 FAX: 0166-48-4749
・北の生活産業デザインコンペティション 北の生活産業デザインコンペティション実行委員会	道内の製造業者をはじめとした産業界の、デザインに対する理解と関心を深め、工業製品等におけるデザイン技術の向上とデザイン開発意欲の高揚を図ることを目的とする。	毎年12月頃 一頃公募	①工業・クラフト・パッケージのデザイン3部門とし、道内一村一品をはじめ、道内で生産された製品で製品化可能な未発表の試作品 ②道内に在住する者	大賞1点 50万円 金賞 各10万円 銀賞 各7万円	事務局 〒060 札幌市中央区北3条西6丁目北海道商工労働観光部工業振興課内 TEL: 011-231-4111 内線26-366 FAX: 011-222-0584